



— 地域おこし協力隊が行く —

「地域おこし協力隊としての最後の年を迎えて」



浅井 広大

地域おこし協力隊として甘楽町で活動し、早3年目を迎えました。

ここ2年間の活動を振り返ってみると、私が取り組みたいと思った養蚕は、道具や桑畑、お蚕を飼う場所もなく、まさにないない尽くしのなかでのスタートでしたが、色々な人にご支援いただき、昨年は約300kgの繭を生産することができました。当初は何をするか定まっていなかった冬場の活動も、地元聖徳銘醸さんにお世話になり、研修生として日本酒造りに携わらせてもらうことができました。

このような活動をしてきて切に感じるのが、一人ひとりの人

と関係を作っていくことの重要性です。

活動始めは、「地域おこし協力隊というからには、地域全体と向き合っていかなければ」と意気込んでいたのですが、その不自然な気負いを見透かされたのでしようか、「地域という漠然とした言葉にのまれて、一人ひとりとの人付き合いをおざなりにしていないか」と指摘されたことがあります。それから、地域という言葉に翻弄(ほんろう)されないように意識しながら、甘楽町の人たちとお付き合いすることで、本やインターネットからは得られないようなたくさんの方の学ぶことができました。

そして今、学んでいるだけでは許されない時分が差し迫ってきました。甘楽町での自立のために、たくさんの方から教えていただいたことを仕事に発揮していきたいと思えます。

今後の活動予定

- 6月 春蚕
- 7月 夏蚕
- 8月 初秋蚕
- 9月中旬～10月 晩秋蚕・初冬蚕
- 11月～3月 聖徳銘醸で日本酒造り研修



お蚕を振り込んだ回転まぶしをつるす作業(昨年6月)

旧一中・二中の閉校記念誌を交換・販売しています

旧甘楽第一・第二中学校の閉校記念誌が発行され、4月に町内各世帯に配布しました。配布された記念誌が、卒業校と異なる場合は交換しますので、学校教育課学校教育係までお持ちください。

また、追加で閉校記念誌をご希望の場合は販売しますので、お申し出ください。

【販売価格】

- ◆各1冊 500円
- ◆CDデータ1枚 500円



【問合せ先】  
学校教育課学校教育係  
(☎内線511)